

家庭学習について困ったときは？

●担任の先生と連絡をとりましょう

家庭学習について困ったことやわからないことがあるときは、まずは担任の先生に相談してみましょう。お子さんにあった学習内容や取り組み方について、家庭と学校とが一緒に考え、協力しながら、子どもの進んで学ぶ力を共に育てます。

●図書館を利用しましょう

家庭学習の中で調べたいことが出てきたときは、図書館へ出かけてみましょう。図書館では、レファレンスサービスといった、調べ学習のお手伝いもしています。

新宿区立図書館のホームページには中高生ページがあり、「この本知ってる？」で中学生以上の10代の方におすすめの本の紹介もしています。

読書をすることで、学習の基礎である読解力や思考力の向上が期待できます。豊かな心を育んだり、生き方について学んだりすることもできます。図書館で借りた本の感想をメモしたり、家族で同じ本を読んで感想を共有することもおすすめです。

子育て・教育のことで困ったときは？

子どもと家庭の総合相談

子育ての悩み、困っていること、わからないことなどについて、スタッフが一緒に考え、アドバイスします（電話・来所）。

●子ども総合センター	(新宿 7-3-29)	相談専用電話	3232-0675
●信濃町子ども家庭支援センター	(信濃町 20)	相談専用電話	3357-6855
●榎町子ども家庭支援センター	(榎町 36)	相談専用電話	3269-7345
●中落合子ども家庭支援センター	(中落合 2-7-24)	相談専用電話	3952-7752
●北新宿子ども家庭支援センター	(北新宿 3-20-2)	相談専用電話	3362-4152

受付時間

●子ども総合センター	月～土曜日	午前8時30分～午後7時	
	日曜・祝日	午前8時30分～午後5時	(電話相談のみ)
			(年末年始は休み)
●各子ども家庭支援センター	月～金曜日	午前8時30分～午後5時	
	土曜日	午前9時30分～午後6時	(来所相談のみ)
	日曜・祝日		(年末年始は休み)

教育相談

子どもの性格・行動・心身の健康・発達・学業・いじめなど、教育上の問題や悩みごとの相談に応じます。

●教育相談室（大久保 3-1-2 教育センター内）

面接相談

☎3232-3071【予約制】

受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時30分（祝日・年末年始は休み）

相談時間：月～金曜日 午前9時～午後6時（祝日・年末年始は休み）

電話相談

☎3232-2711

相談時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（祝日・年末年始は休み）

中学生保護者向け

家庭学習のすすめ



保護者の皆様へ

家庭学習で大切にしたいこと

「家庭学習のすすめ」は、子どもの生きる力を育むために、家庭における保護者の子どもへのかかわり方についてまとめています。子どもの学習に向かう姿勢は、保護者の子どもへのかかわり方で変わってきます。学校での授業とともに、家庭においても学習への関心・意欲を高め、学習習慣を定着させることを大切にしましょう。

また、漢字や計算、英単語など、学校で習った内容を理解し定着させるために、家庭でタブレット端末等を活用し繰り返し学習しましょう。

家庭学習の際にタブレット端末を有効活用するためには、家庭での使用の仕方について子どもと十分話し合うことも大切です。



「勉強しなさい」と言う前に



どうして勉強してほしいのか考えてみましょう

家庭では子どもに対して「勉強しなさい」とつい言ってしまいが、それはなぜでしょうか。

そこには、子どもに勉強や生活を通して身に付けてほしいと思う力や、成長していく過程で特に大事にしてほしい力があるからではないでしょうか。

どんな力を身に付けてほしいのか、そのためにどんなことを学んでほしいのか、「勉強しなさい」の奥にある保護者としての願いを考えて、子どもの成長を見守っていきましょう。



家庭教育ワークシートのご紹介

子どもとのかかわり方について、具体的に考えることのできる「家庭教育ワークシート」を学校を通して保護者へお配りしています。
※区ホームページにも公開していますので、あわせてご活用ください。

くほーむぺーじ
区ホームページ
さっしえつらん・ダウンロードは
こちらから

タブレット端末を有効活用するために



区では、子どもたちが自ら調べ考え、まとめる力を伸ばしたり他者と学び合ったり、自分に合った学び方を見付けたりして、より深い学びに結びつけることができるよう、一人1台のタブレット端末を貸与しています。家庭では下記のことを気をつけながら、タブレット端末を有効活用しましょう。

家庭での使用の仕方について子どもとよく話しましょう。

- 健康面を考慮し、例えば、30分間使用したら目を休め、また、画面から30cm以上離して使用しましょう。
- インターネット利用の約束を確認しましょう。
- 少なくとも、寝る1時間前からは利用を控えましょう。
- 極端に明るかったり暗かったりすることがないように、部屋の明るさを調整しましょう。
- 画面の角度を調整し、照明が画面に映りこまないようにしましょう。
- 意識してまばたきの回数を増やし、目の乾燥を防ぎましょう。

▼不適切な使用の例

- 貸与されたタブレット端末を、学習に関係ない目的で使用すること。
- 相手を傷つけたり、不快にさせたりする情報発信をすること。
- 公の場でふさわしくない言葉遣いをする事。
- 夜遅い時間など、長時間にわたり動画等を視聴すること。

コンピュータ上の履歴は全て記録されています。貸与されたタブレット端末は、学習のために使うことを家庭でも子どもに伝えましょう。

ご家庭でのサポートをお願いします

～お家の方はお子さんの最大のサポーターです～

1年生 目標 予習、復習の習慣を身に付け、計画的に学習を進める

こんな時期です

教科ごとに違う先生が担当したり、小学校に比べて学習内容が増えたりと、質・量ともに大きい変化があり、授業の進度が速く、負担だと感じる子どももいます。そのため、学習の見通しを立てて予習をしたり、学習のポイントを復習したりすることが、授業内容の理解や定着を図るうえで重要です。

2年生 目標 自ら課題を見つけ、自主的に学習を進める

こんな時期です

学習内容が難しくなると言われる頃ですが、課題を解決していくことで次への意欲が向上する時期でもあり、いかに自主性を高めていくかが重要となります。将来の夢や希望について家庭で共有すると、子どものイメージもふくらみ、学習意欲につながるでしょう。

3年生 目標 進路に向けて目標を明確にして学習を進める

こんな時期です

進路に向けて、これまで以上に計画的な学習が大切になります。進路が定まると、目標に向けて何をする必要があるのかといった努力すべきポイントがはっきりし、計画を立てて学習を進めやすくなります。家庭でも進路について話し合う機会をもち、一緒に考えるとよいでしょう。

ご家庭でのサポート

中学生の時期、子どもたちは学校生活や部活動、友人関係など身の回りの環境が変化する中で、心も体もこれまで以上に大きく成長していきます。一方で親子の関係では、口は出してほしくないけれど、自分のことは見ていてほしいという、気持ちが揺れ動く時期でもあります。小学生の頃と同じかかわり方をすると、反発したり、急に無口になったりと、思わぬ態度を見せることもあります。

そうした子どもの態度を受け止めつつ、ときには子どもの意見を聞いて話し合いながら、学習に意欲的に取り組めるサポートをしていきましょう。

★ゲームの時間や携帯電話・スマホなどの使い方のルールを決めましょう

学習に集中できるよう、ゲームや携帯電話・スマホなどを学習環境から遠ざける工夫をしたり、ゲームや携帯電話・スマホなどに時間を使いすぎないようにしたりするなど、家庭でのルールについて子どもと一緒に考えて決めましょう。決めたら、実行できるように応援しましょう。

★規則正しい生活を心掛けさせましょう

十分な睡眠を確保すること、朝食を取ることは、集中して学習に取り組むための基盤となります。

★将来の夢や職業について話しましょう

将来の夢や希望、職業などについて、子どもがどのような思いや考えをもっているか、話を聞いてみましょう。そして、夢の実現に向けてどのような心構えや努力が必要なのか考えられるように家庭で話し合い、子どものやる気を励ましましょう。

★言葉掛けや対応を工夫してみましょう

普段、子どもにどのように言葉を掛けていますか。子どもへの言葉掛けには、親子関係が表れます。親が常に上の立場で言葉を掛けるのではなく、子どもに何かを教えてもらったり、考えや意見を聞きながらサポートしたり、寄り添って考えや意見を交換したりと、子どもへの対応を変えてみることで、子どもはひとりの人として尊重されていると感じます。きっとそこから、生きる力やチャレンジする力が生まれるでしょう。